

「お母さんやおじいちゃん
たちに特殊詐欺には気をつ
けるように伝えたい」と話
した。(池野上遥)

不要な木材 受け入れ実験

津別 センター来春稼働控え

持ってきた木材を軽トラックから降ろす
搬入者



【津別】町の木質バイオ
マスセンターが来春稼働す
るのに向けて、町内外の人
たちを対象に不要な木材を
買い取る実証実験「つべつ
ウッドロスマルシェ」が8
月27日、町内の旧本岐中グ
ラウンドで行われた。来場

は町内外からの3人にとど
まったが、合計1550㎡
の木材が集まった。

稼働後の同センターの活
動の一つで、木質バイオマ
ス活用に向けたPRが狙
い。また、集まる木材の量
や種類、効率的な搬入など
を調べることも目的だ。

この日は町再エネ推進係
の職員が見守る中、木材
を載せた軽トラックや大型
車が訪れ、手作業で荷台か
ら木材を降ろした。木材は
種類と形状ごとに4種類の
規格に分けた上で保管す
る。

所有山林に生えるカラマ
ツの間伐材を活用したまき
約300㎡を軽トラックで
持ち込んだ町内の男性(52)
は「自宅では広葉樹のまき
を使うつもりなので、有効
に使用できれば」と話し
ていた。(青山秀行)